

2022



十三公民館だより

発行 十三公民館

Tel・FAX 91-1755

卒業

3月15日（火）、十三中学校第75回卒業証書授与式が新型コロナウイルス感染症予防のため、生徒、保護者及び同校教職員で行われました。

式では、濱井孝久校長より男子13名、女子16名の卒業生一人一人に卒業証書が授与されました。式辞では、数学問題の動く点Pに焦点を当て



点Pのほとんどは動けることができる範囲が決まっていることからすれば、皆さんも同じ点Pでいろいろな制約の中で生きています。

今、自分はどこまで動けるのか、その中で何ができるのかを把握し、動ける範囲を少しずつ広げながら、頑張りたいと思います。

動く点の中には、一秒間に1cmや2cm進む点もあります。人には、それぞれ自分にあったペースがあります。人と比べることなく、コツコツと自分のペースで目指す方向かって進んでほしいと激励されました。

3月17日（木）、湖南小学校の卒業証書授与式が新型コロナウイルス感染症予防のため来賓などの出席を得ず同校体育館で行われ、男子16名、女子16名の卒業生に金原礼子校長より卒業証書が授与されました。

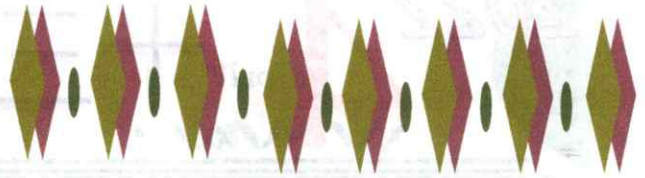
式辞では、巣立つ皆さんにパナソニック創業者の松下幸之助さんの言葉を紹介するとして「どんなに悔いても過去は変わらない。どれほど心配したところで未来もどうなるものでもない。いま、現在に最善を尽くすことである。」これは過去を悔いたり未来を心



配したりするよりも、今できることや行うべきことに一生懸命に取り組むことが、一番大切だということを教えてくれている言葉です。

皆さんもこれからの中学校生活、そして長い人生の中で、失敗したり不安になったりすることが何度もあるでしょう。大きな努力を重ねても、期待した効果が得られないこともあります。そんなときは、松下さんの言葉を思い出し、前を向いて今できることに最善を尽くしてください。この湖南小学校で学び体験したことが前を向いて進む大きな力となるはずと激励されました。【写真は学校から提供】

4月の講座・サークル案内



講座名	曜日	実施日	時間	講師名
詩吟	月	4日・11日・18日・25日	10時30分～	平井静子先生
手芸	火	12日・19日・26日	19時30分～	
茶道(保育園)		休講	10時00分～	みどり保育園
三味線	木	14日・28日	13時00分～	山下茂昭先生

十三地区の集落別地名由来

大 浦

旧称は耳浦。耳という身体名の名を嫌い、同地にある大浦の地名を採り、大正三年（1914年）大浦に改称。集落は石坊・上出・長田・下出・中田浦・寺前出・金浦の七垣内より成る。耳浦の地名の由来は不明だが、耳を美美と解すれば、風光明美な浦という意か。万葉集にいう布勢水海の湖畔であり、国守大伴家持がこよなく愛し、四度も遊覧した景勝の地であった。

耳浦は南北朝期から見られる荘園名。至徳二年の足利義満御班御教書に「越中国耳浦庄内惣領分地頭職。（耳浦又五郎入道跡）並小杉村・・・任亡父道勝讓状之分、飯尾隼人佑兼行可全領掌之状如件。」（飯尾文書）とあり、かつて耳浦又五郎領であった当荘惣領分地頭職は、その後、飯尾道勝の管掌するところとなり、道勝の讓状が足利幕府に認められ、子息飯尾兼行の領掌となった。

また、窪の常念寺本尊の裏書に「耳浦庄淵窪村」とあり、耳浦庄は布勢水海の南岸一帯を占め、その広さは東は窪から西は惣領までにまで及んでいたらしい。小字の「館の下」は耳浦又五郎入道の居館の跡だろうか。

大浦の地名（小字）

あいおだ うわの えん おおうら おおくぼ かたまわり くめしま げんたか
 相才田・上野・円・大浦・大窪・湯廻・久米島・源高・御坊下・権現光・沢原・三乗寺
 三蔵・下出・定免・諏訪・大子・大門・高山・竹ノ端・館ノ下・茶院・鳥・条島・堂ノ前
 中山・浜田・広田・深素・舟戸・細越・前田・湯坪・湯の上・与作谷

平成三年度に富山県コミュニティライフ推進事業の一つ「郷土文化再発見活動事業」を導入し、神代、仏生寺、布勢の三地区より活動員を選出して踏査・研究を踏まえ、平成五年三月に発刊された「十三地区の地名」より出典しました。次号より逐次掲載します。